

令和元年度松阪撫子展示会のご案内

2019年5月7日
松阪三珍花保存会

1. 松阪三珍花保存会「令和元年度松阪撫子展示会」

日時 2019年5月15日(水)～5月19日(日) 午前9時～午後4時
(15日は正午から 19日は午後3時まで)

場所 松阪市本町 豪商ポケットパーク
(お問い合わせ先 松阪市幸公民館 電話0598—23—9549)

展示内容 各種松阪撫子 5号鉢 約200鉢

2. 松阪三珍花保存会有志による「松阪撫子展示」

日時 2019年5月20日(月)～5月26日(日)

展示場所

- ①松阪撫子発祥の地 松阪市殿町1257 山田大路(ようだおおじ)さん宅
②本居宣長記念館 ③歴史民俗資料館 ④原田二郎旧宅

展示内容 各種松阪撫子 5号鉢 10～20鉢

※展示場所により、日程および時間が異なる場合があります。

以上の お問い合わせ先 松阪市幸公民館 電話0598—23—9549

松阪撫子 (Matsusaka Dianthus)

松阪生まれの松阪撫子は、一般には伊勢撫子(イセナデシコ)とよばれています。

松阪撫子を初めて作出したのは、今から約200年前、松坂(松阪)殿町に住んでいた紀州藩士の継松栄二が河原撫子(大和ナデシコ)を栽培していたところ、偶然にも花卉が深く切れ込み、縮れて垂れ下がった花を見つけ、その後実生により改良を重ねた結果、今の品種を作出したと伝えられています。

光格天皇(上皇)は伊勢から有栖川宮家を経て献上された本種をことのほか好み、皇女が京都宝鏡寺に落飾する際に持たせ、保存に努めるように勧めたそうです。現在でも宝鏡寺で栽培が続けられているそうです。その後の研究で、伊勢(松阪)撫子は同じナデシコ属に属するセキチク(石竹)と河原撫子との雑種を起源とする説などがあり、今後の解明が待たれます。

松阪撫子は四季咲性ですが保存会では、9月中旬頃種を播き、5月咲きとしています。花卉の性質には「花卉の肩が張って垂れる」「花卉の肩が張らずに垂れる」などありますが、何れも垂れ下がりが長いものほどよいとして保存してきました。花色は、白、濃淡ピンク、藤、紅、赤など多彩で、ぼかしや絞り模様が出る事もあります。仕立て方は3本仕立ての天地人作りとし、1本に5花、計15花を基本とします。

<松阪三珍花保存会への入会のおすすめ>

あなたも「松阪撫子」「松阪花菖蒲」「松阪菊」を作ってみませんか！

『松阪三珍花保存会』について詳しいことをお知りになりたい方は、お近くの会員にお気軽にお声をおかけ下さい。または下記にご連絡下さい。

松阪三珍花保存会連絡先

会長 北村守彦 TEL 0598—26—6812
副会長 中田邦雄 E-mail knakata@mctv.ne.jp

松阪三珍花のホームページ <http://www.matsusaka-sanchinka.jp/> ご覧ください。